

日臨技・北臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」終了報告

今年度初めての開催となりました日臨技・北臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を10月4～5日にKKR札幌医療センター3階会議室で行いました。日臨技宮島会長が長野県会長の頃から取り組んできた事業でもあり、全国的に展開したいという熱意により昨年度から準備が始まった講習会です。新年の会報JAMTでも準備段階となる企画者講習会の報告があったように、日臨技としては3年間で1割の会員の受講を目指しています。そして、諸々の準備を経て北海道でも開催の運びとなりました。北海道は東北管内と意見交換をしながら準備を進め、秋田県に次いで東北・北海道圏では2番



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
北臨技 NEWS No.269 25.0ct.2014
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073
http://www.hokuringi.or.jp

目の開催となりました。当初、北海道内で48施設を募集いたしました。残念ながら目標には届かず33施設の参加となりました。プログラムは2日間に亘る長い講習会で6名の講演と4つのビデオ講演を行いました。検査説明・相談に必要な知識や技術を身につけていただくために様々な講習を受けていただきました。1日目は全て講演とし、始めはビデオ講演により宮島会長と日本病院会理事から、検査説明に検査技師が取り組む意義と今後の業務拡大へと繋がるであろう内容をお聴きました。次いで北海道大学名誉教授の松野一彦先生にR・CPCをご講演いただいた。検査値の詳細な分析を学びました。1日目の午後からは検査説明を行っている施設からの講演として、札幌厚生病院の糖尿病教室に関して佐藤繁樹樹師長に、京都府立医科大学附属病院の石澤衛副技師長からは実際に検査説明業務への取り組みを紹介いただき、さらにビデオ講演で、飯田市立病院（長野県）の實原技師から長野県での検査説明事業への技師会の関与や講習会の実施状況の説明を聴きました。1日目の最後のセッションは患者様への接遇

と患者心理ということ、日本看護協会理事からの看護師の患者接遇（ビデオ）と臨床心理士の多田周平先生から事例を交えた患者心理についてご講演を頂きました。2日目は受講者を6グループに分け、午前北海道大学病院検査・輸血部部長の清水力先生のご講演とグループワークを用いた実践形式での患者説明を行いました。午後は須磨展子先生から接遇についてロールプレイを行いながら学びました。接遇を含め、実際に自分で検査説明を模擬体験する事を通して、まず人として忘れてはいけない接遇や話し方、そして、説明をする技師役以外にも患者役になったときの感想など出席した受講者一人一人が他の受講者の対応などを観察しながら悩んでいただけの良い機会になったと思います。

事後アンケートでは「良かった」という評価が多かった中、講習の中でビデオを用いた部分に関しては、「質問したい事項があっても質問ができない」といった意見もあり、今後の課題となりました。受講者1割を目指し来年度も開催いたしますが、今回の反省を基にさらに良い講習会としていけるよう役員一同邁進したいと思っております。今回の講習会が各施設での検査説明・相談業務に取り組みのきっかけとなれば幸いです。

（常務理事 小野誠司）

新入会員研修会報告

平成26年9月28日（日）に新入会員研修会を岩見沢市民会館「まなみーる」で開催いたしました。今年度は、第89回北海道医学検査学会に合わせた開催としました。日臨技作成DVD「一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会について」の視聴に続き、「一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会について」として北臨技の東会長が講演しました。総勢30名ほどの参加でしたが、新入会員の皆様においては、臨床検査技師会の活動がどのようなものか、少しでも理解を深められた大切な研修会になった事と思います。

（組織対策部長 星直樹）

<会員名簿の訂正について>

先に発行しました会員名簿(平成26年9月現在)に次の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 1) P.35(4施設目) 及び P.106(1列目)の会員氏名
誤: 柏原 杏奈 → 正: 柏原 杏菜
- 2) P.68(3施設目)の札幌宮の沢脳神経外科病院の法人名
誤: 医療法人明日香 → 正: 医療法人明日佳

お願い 転居時は必ず技師会の会員情報を変更してください。転居先不明で戻ってくる発送物が増えています。

第184回北臨技講習会

「感染症検査のトピックス!!」

平成26年11月29日（土）に第184回北臨技講習会を札幌医科大学臨床第1講義室において開催します。近年、感染症領域では新興・再興感染症の発生、交通網の充実より、様々な感染症に対応していく必要があります。また、新しい微生物検査法の導入、薬剤感受性試験の判定基準の定期的な改定など、検査技師が習得する手技や知識も少なくありません。今回は、「検体採取法と保存」「ヒトメタニューモウイルス」「POT法」「血液培養」の講演および特別講演として札幌医科大学医学部微生物学講座教授の横田伸一先生をお招きし、「抗菌薬耐性菌をどう解析するか～日常のデータに一味加えてみる～」との内容でお話していただきます。多岐に渡る内容となっておりますが、最新のトピックスを会員の皆様に周知していきたいと企画いたしました。ふるって多くの会員の方々に参加していただきますようお願いいたします。（微生物部門長 和田直樹）

申込 11/21迄 受講料 3,000円 同封の案内・HP参照

●求人情報● ※詳細は北臨技事務所へ
・中標津町 公立病院 正職員 検体検査全般